



お客様のご使製品情報

お客様のご使用製品情報

The serial number

※本書は、使用開始後は金庫の中に入れず、別の場所に大切に保管し、他者の目に触れないように十分ご注意ください。

※ご質問へのお答え、保証サービスの際に、上記の番号が必要となります。

保証規定

本製品は、最初の購入者に対して、購入日より1年間、構造上または機械的な欠陥が認められた場合、本製品の欠陥部分の判別により無料で修理または交換いたします。本保証は、日本国内においてのみ適用されます。

保証サービスを受ける方法

日本国内において保証サービスを希望される場合、マスターロック・セントリー日本株式会社 (TEL:03-5447-5311 カスタマーサービスセンター) にご連絡ください。(注) お買い上げ証明書 (レシート・納品書等) は大切に保管してください。提示が必要となります。「購入証明」がない場合は、故障修理時に有償となります。

火災による損害に対する保証

最初の購入者による使用期間内に本製品が火災により損傷を受けた場合、製品を無償交換いたします。最初の購入者の名前・住所と、損害製品の写真を含む火災の事実をマスターロック・セントリー日本株式会社にご提出ください。損傷した製品と同等製品に交換いたします。マスターロック・セントリー日本株式会社は、いかなる状況においても、耐火金庫内のすべての保管物があらゆる種類の火災またはその他の損傷に耐えることを保証するものではありません。耐火金庫が火災その他の損傷を受けた場合、またはその他のいかなる状況においても、耐火金庫内の保管物に対しては一切責任を負いません。

保証の限定

1. 重大な過失または故意の不法行為による損害を除き、欠陥製品に対する製造者の責任に関して適用される法律および規則で許容された範囲内のいずれの場合においても、本保証書に基づくマスターロック・セントリー日本株式会社の責任および購入者の排他的救済は、マスターロック・セントリー日本株式会社の判別によって、本製品の欠陥部品の修理または交換に限定します。マスターロック・セントリー日本株式会社は火災・水害・窃盗もしくは破壊行為のような外的事象からの損失や損害に対しては一切の責任を負いません。また、本保証書もしくは本製品に適用される他の明示・黙示の保証条項に違反することに起因する人身または財産 (本製品の保管物を含む) の偶発的または間接的損害に対しても、一切の責任を負わないものとします。

2. マスターロック・セントリー日本株式会社は、国内準拠法により別段に規定される場合を除き、書面または口頭によるものか、あるいはそれが明示的であるか黙示的であるかにかかわらず、他のいかなる誓約も保証も拒否します。これには一般市場商品性と特定目的に対する適合性についての黙示の保証も含まれます。本製品に適用される黙示の保証は、限定保証期間の1年を超えないものとします。

3. 法律で許容される範囲内において、マスターロック・セントリー日本株式会社は、出荷に起因する本製品の損害、欠陥または故障に対して責任を負いません。適切に合理的な取扱いで梱包を行った本製品は、到着時にも良好な状態であるものとします。

4. マスターロック・セントリー日本株式会社もしくはその被指名人以外による本製品の变形、改造、修理、サービスに起因する、または本製品に対する物理的乱用もしくは不正使用に起因する、欠陥、損害または故障については、本限定保証の対象としません。

5. マスターロック・セントリー日本株式会社の代理店、従業員、代表者、販売店または小売店には、いかなる方法においても、本限定保証の条件を変更するという表明、約束または合意を行ったり、暗示したりする権限はありません。

6. 本限定保証は、新品で一級品質品に適用されるものであり、工場の二級品、前に他の所有者がいた中古品、並行輸入品、マスターロック・セントリー日本株式会社を通して日本で販売されていない非正規品、もしくは過去に火災・洪水・地震等により損害を受けた製品には適用されません。

7. マスターロック・セントリー日本株式会社は、さらに民法570条に基づく、黙示の瑕疵担保責任を否定します。

本限定保証のすべての条項は、独立しており、分離可能です。いずれかの条項が無効かつ法的強制力を持たないとされた場合でも、その決定は、その他の条項の有効性または法的強制力に影響を及ぼすものではありません。

輸入・発売元 (本製品に関する、お問い合わせ先は以下の通りです。)

マスターロック・セントリー日本株式会社

カスタマーサービスセンター

TEL 03-5447-5311

〒141-0022 東京都品川区東五反田 2-20-4 NMF 高輪ビル 4F

TEL:03-5447-5311 FAX:03-5447-5318

<https://masterlocksentry.jp>

※本書の無断での転載はお断りします。 ※本書の内容は機能向上などの理由により予告なく変更することがあります。

取扱説明書・保証書 コマーシャルセーフシリーズ

本製品をお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。
ご使用前に、この取扱説明書を必ずよくお読みください。お読みになった後は、大切に保管してください。

ご使用前に必ずお読みください

はじめに

- ・本製品は耐火性能を重視した耐火金庫であり、防盜用金庫とは性能が異なります。防盜用金庫のような耐破壊強度はありません。適切な道具を使って時間と労力を費やせば、どんな金庫も開けることが可能です。日頃からの少しの注意で、盗難をかなり予防することができます。
- ・可能な限り耐火金庫を隠してください。直射日光や熱が当たる場所は避けてください。変色・変形の原因となります。
- ・火災時に消防関係者に話す以外、金庫の設置 (隠し) 場所は他人に漏らさないでください。
- ・暗証番号のわかる本取扱説明書や書き写した書類の取扱には十分にご注意ください。

安全にご使用いただくためのご注意

- 1) 耐火金庫の開閉は静かに行い、指はさみに十分ご注意ください。また、勢よく開閉すると他のものを傷つけたり耐火金庫の故障の原因となります。
- 2) 耐火金庫は正しい向き (底面が下) の状態でご使用ください。特に扉を上向きにした状態で使用すると、閉める時、手をはさんだり収納物を壊す危険があります。また、扉を開けた時、扉が本体蝶番から外れることがあり危険です。
- 3) 耐火金庫の内容積に合わない大きさの物を入れると扉が開まらなかつたり収納物を壊すことがあります。
- 4) 耐火金庫の設置場所が耐火金庫及び収納時の重量に耐えられることを事前にご確認ください。
- 5) 耐火金庫全体及び扉を改造したり分解したりしないでください。耐火金庫の故障、性能の低下につながります。
- 6) お子様にはさわらせないでください。思わぬ事故につながる恐れがあり、危険です。
- 7) 耐火金庫の設置は水平な場所に置いてください。扉の開閉に支障をきたす恐れがあります。
- 8) カンヌキが出ている状態で、扉を強く閉めないでください。本体にカンヌキがあたり、施錠機構の故障の原因になります。
- 9) 時々、耐火金庫の開閉を行い内部の通気を行ってください。(湿気防止として)

保管物について

- ・いかなる状況においても、金庫・保管庫内のすべての保管物があらゆる種類の火災または、その他の損傷に耐えることを証明するものではありません。また金庫・保管庫内の保管物に対しては一切の責任を負いません。
- ・武器の保管はできません。この製品は火器、弾薬、爆薬、起爆装置あるいは武器の保管用に製造された製品ではありません。これら武器類を製品内に保管したために生じる損害・損傷に対して、一切の責任・責務を負いません。
- ・フロッピーディスク・カートリッジ・テープ、オーディオ・ビデオカセット、写真ネガ等は火災時にデータを保護できません。
- ・切手類やその他の湿度に弱い微妙な製品を保管する場合には、密封容器に入れて耐火金庫に保管してください。
- ・真珠、及び一部の宝石は高熱のために変色したり、汚損する恐れがあります。宝石店に問合せ、お客様の宝石類の耐熱性を確認ください。

故障に関する修理・保証について

- 1) 購入日から1年以内に、取扱説明書の注意書きに従った正常な使用状態で構造的及び機械的欠陥にて故障したと認められる場合、無償にて修理、もしくは、修理が困難な場合は同型の製品と交換させていただきます。その際に、「保証書」または「購入日を証明できるもの (領収書、納品書、送状、請求書など)」をご提示いただく必要がございます。
- 2) 火災による製品の損傷 (ライフ・タイム・ワランティ) 最初の購入者による使用期間内に本製品が火災により損傷を受けた場合、損傷した製品と同等の製品と交換いたします。その際に、最初の購入者の名前・住所と、損傷した製品の写真を含む火災の事実をご提示いただく必要がございます。
- 3) 保証期間内であっても次の場合には有償修理になります。
 - イ. 使用上の誤り及び当社または当社指定以外の業者による修理や改造などによる故障及び損傷。
 - ロ. お買い上げ後の移動・落下による故障及び損傷。
 - ハ. カンヌキ等の特定部品の故障の場合。
 二. 保証欄への押印または購入証明の提示がない場合。

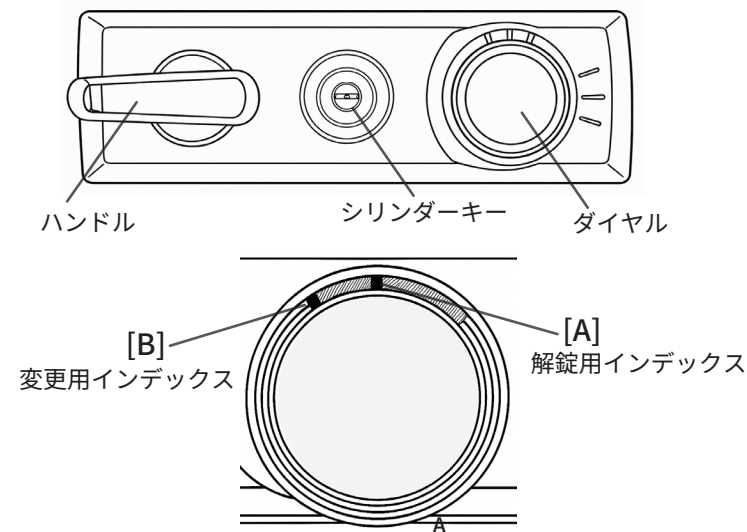
詳しくは、**カスタマーサービスセンター (03-5447-5311) にご相談ください。**

SentrySafe 保証書

保証期間: 構造的及び機械的欠陥.....1年間 火災による製品の損傷(ライフタイムワランティ)....最初の購入者に限る	お買い上げ日	年	月	日
ご住所	販売店:	住所	印	
お名前	店名	電話		
お電話	()	()		

お買い上げ店の証明印がなくても、お買い上げ年月日を証明できるものご提示があれば、本書は有効です。領収書、納品書、送状、請求書なども購入を証明できるものとなります。本説明書同様、大切に保管してください。

ダイヤル式ロック使用方法



はじめに

- ダイヤルリングの上端にある指標（インデックス）[A]は、通常ダイヤル操作と施錠のために使用されます。左側にある指標[B]は、新しい暗証番号を設定するときのみ使用されます。
- これは精密なロックであるため、暗証番号の数字を合わせる際には細心の注意が必要です。
- ダイヤルはゆっくりと確実に回してください。正しい回転数まで回した後、いずれかの番号がインデックスを超えて回転した場合は、組み合わせ番号全体を再度ダイヤルする必要があります。番号を正しく合わせ直すためにダイヤルを逆回転させないでください。選択した番号が解錠用インデックスに合うたびに1回転がカウントされます。

開け方（解錠方法）

工場出荷時の番号は「50-25-50」です。

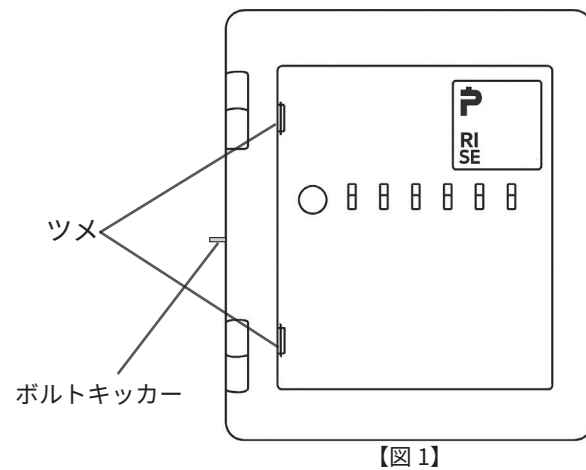
- ダイヤルを左に回し、[A] 解錠用インデックスに「50」を合わせ、4回目に停止させます。
- ダイヤルを右に回し、[A] 解錠用インデックスに「25」を合わせ、3回目に停止させます。
- ダイヤルを左に回し、[A] 解錠用インデックスに「50」を合わせ、2回目に停止させます。
- ダイヤルが「0」で止まるまで右に回します。
- シリンダーキーを右に1回転させるとハンドル操作が可能になりますので、ハンドルを下げたまま扉を開けます。

新しい暗証番号への変更

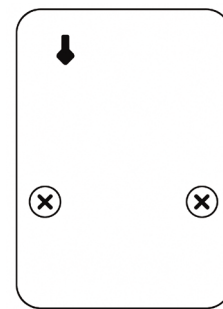
ご自身で3組の数字を選んで、新しい暗証番号を作成してください。ただし、最初と最後の数字に0から20の範囲の数字を使用しないでください。（例：46-82-13は不可）セキュリティを最大限に高めるため、数字が0または5で終わる数字を使用しないでください。また、数字が連続して増減する組み合わせも推奨されません（例：35-50-75など）

⚠必ず扉が開いた状態で操作してください。⚠

ボルトキッカーを押し込みカンヌキを出しておきます。（図1参照）
新しい暗証番号の設定を行う為に、扉の内側にあるカバーを外します。
マイナスドライバー等を使用しツメを起こすと外せます。（図1参照）
カバーを外すと、ダイヤルの裏側の位置に図2の様な箱が備えられていますので、付属の設定変更キー（図3）をご用意ください。



【図1】

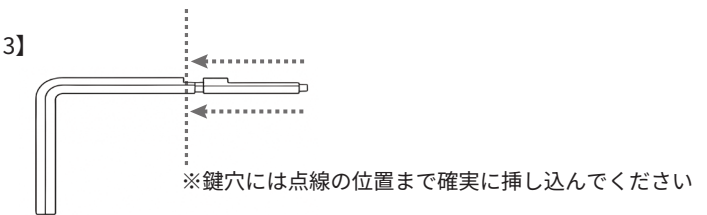


【図2】

新しい暗証番号への変更（つづき）

- 変更前の番号（工場出荷時の番号「50-25-50」）を、[B] 変更用インデックス（左側の赤線）に合わせます。
 - ダイヤルを左に回し、[B] 変更用インデックスに「50」を合わせ、4回目に停止させます。
 - ダイヤルを右に回し、[B] 変更用インデックスに「25」を合わせ、3回目に停止させます。
 - ダイヤルを左に回し、[B] 変更用インデックスに「50」を合わせ、2回目に停止させます。
- 現在設定されている暗証番号の組み合わせの最後の番号を[B] 変更用インデックスに合わせた状態でダイヤルを保持し、図2の鍵穴に設定変更キー（図3）を挿し込みます。（図4参照）

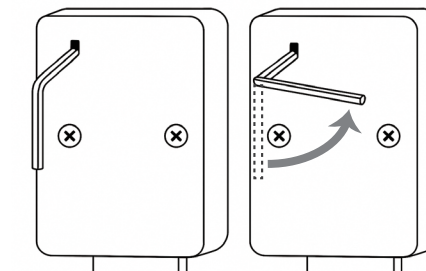
【図3】



※鍵穴には点線の位置まで確実に挿し込んでください

【図4】

- 設定変更キーが底まで挿し込まれたことを確認し、挿し込んだキーを反時計回りに約1/4回転させます。（図5参照）



【図5】

- 新たに設定したい番号を[B] 変更用インデックスに合わせていきます。（例：「51-38-72」）
 - ダイヤルを左に回し、[B] 変更用インデックスに「51」を合わせ、4回目に停止させます。
 - ダイヤルを右に回し、[B] 変更用インデックスに「38」を合わせ、3回目に停止させます。
 - ダイヤルを左に回し、[B] 変更用インデックスに「72」を合わせ、2回目に停止させます。
- 現在設定されている暗証番号の組み合わせの最後の番号を[B] 変更用インデックスに合わせた状態でダイヤルを保持し、図5で回した設定変更キーを元の位置に戻します。（時計回りに約1/4回転）
- 設定変更キーを抜き、カバーを元に戻したら新しい番号の設定完了となります。

⚠【注意事項】⚠

扉を閉じる前に、新しい暗証番号を[A] 解錠用インデックスを使って数回試してください。
※P.2の開け方（解錠方法）1～5の手順に沿って実施してください。

設定変更キーを回す前に、図3の点線の位置まで挿し込まれていることを必ず確認してください。

閉め方（施錠方法）

- 扉をゆっくりと閉め、ハンドルが元の位置にあるか確認する。
- シリンダーキーを左に1回転させて鍵を抜きます。
- ダイヤルを左に2回転以上回しておきます。